

重大事故対策 – 重大事故時における発電所外部への確実な情報発信 –



ワーキングの詳細
はこちらから

論点No.116、143

重大事故時においては、リアルタイムで変化していく状況を、外部機関などへ適時確実に情報提供していくことが重要だが、そのためにどのような体制を構築しているのか。

第19回ワーキング
(2021.9.24) で議論

ワーキングチーム検証結果

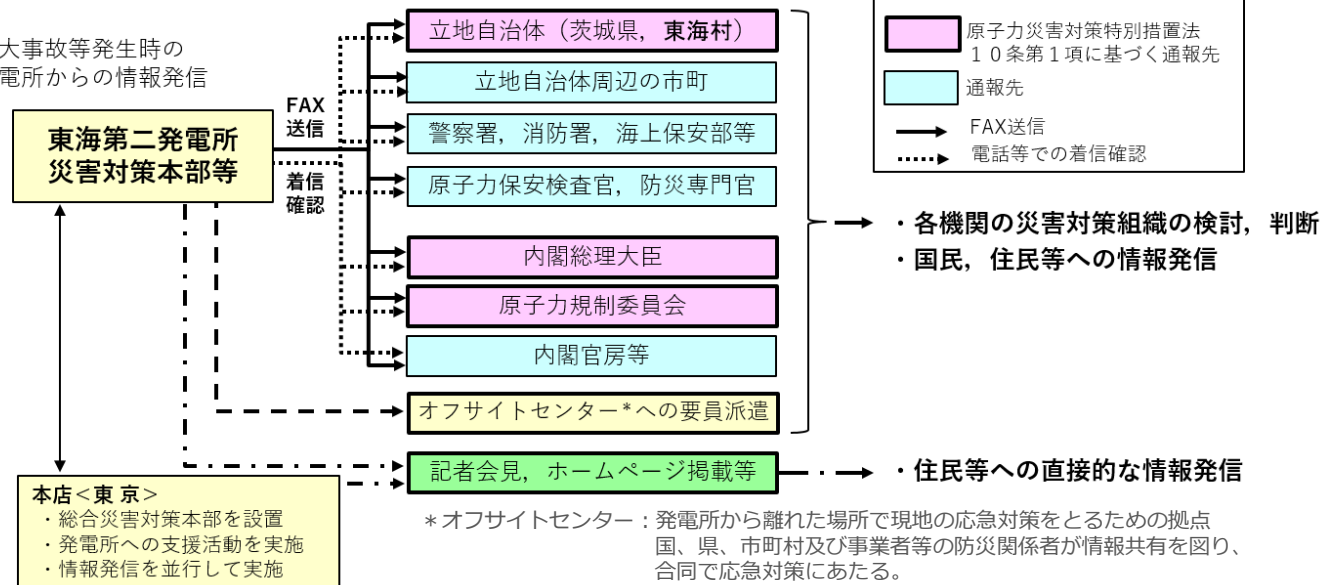
重大事故発生時には、**発電所災害対策本部を設置し、関係機関へ迅速に情報提供を行う体制**としていること、また、情報の伝達ミスを防止するため、**FAXを用いた一斉送信に加え、電話による着信確認を行うこと**などを確認。

ワーキングチーム検証結果（抜粋）

○重大事故等発生時における発電所外部への情報発信

- 重大事故が発生するか、または発生するおそれが生じる事態に至った場合、**発電所災害対策本部等より関係機関に迅速に連絡を行う体制**をとっている。
- 連絡方法は、**迅速に情報伝達を行いつつ誤伝達を防止するため、主にFAXを用いた一斉送信**としており、また、相手方への送信の確実性を期すため、**FAX送信後に個別に電話で着信確認**を行い、必要があれば情報を補足する。
- 関係機関への連絡以外にも、**マスメディアを通じた記者会見やホームページへの情報掲載**等により、発電所の状況を事業者から直接住民・国民に伝えていく。

重大事故等発生時の
発電所からの情報発信



発電所から外部への情報発信の流れ